

第4回桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会議事要旨

<南小跡地の利活用について>

- ・南小跡地の面積は9,000㎡程度とのことですが、跡地の中や周辺の道路整備に伴う面積減は考慮する必要がありますか。
⇒現段階で区画の割り方を決定しているものではありませんが、住宅の代替地として活用するためには、それらを区分するための道路が必要になってきます。また、南小跡地周辺の既存道路についても、生活の安全性を高めていくという意味では、歩道を確保して車道と分離するということも考えられると思います。
- ・駅周辺の地域はハザードマップ上も危険度が高く、緊急車両がスムーズに通行できるよう方向付ける必要があります。南小跡地と、そこから中山道へ抜ける道路を作らないと、まちづくりは考えられないと思います。
- ・道路の整備計画に該当している方々の住まいを確保するという意味では、現在の用途地域を変更し、南小跡地に子育てセンターや図書館を併設したマンションを建設していただきたいと思います。
⇒用途地域の変更については、南小跡地の利活用方針を定め、周辺の住宅地との調和を考えたいうえで、必要に応じて変更する必要があると考えています。
- ・主婦の立場からすると、新鮮な野菜を安く買えるお店が欲しいと思います。
- ・特に今の時期は夕方になると通りが暗く、子供たちを塾などに送り出すのも心配な状況です。図書館など明るい施設、子供たちが安全に通える施設があればいいと思っています。
- ・整備事業の代替地を確保することは必要ですし、コンビニエンスストアなど最低限の商業施設はあってもよいと思いますが、南小跡地に商業施設を作った場合、既存の商店街との相関関係はどのようになるのでしょうか。商業施設も重要ですが、市民が桶川のシンボルと思えるような公共・公益施設を中心に明るいまちを作っていく、ということも考えていいのではないかと思います。

- ・ 駅東口の周辺には避難施設や避難場所がありません。避難場所として公共施設とイベントが出来るような公園を作り、多少高層になるかもしれませんが住宅も併設する。商業施設については、既存の駅通りに集中したほうが良いのではないのでしょうか。
- ・ 民活などを活用し、地区の核になるような商業施設、公共施設、オープンスペースなどを複合的に建築するなど、広さを十分に利用できるようなトータル案がいいのではないかと思います。
- ・ あれもこれも入れると、南小跡地のスペースが無くなってしまいます。商店街や施設のあり方などを考えなければいけないと思います。
- ・ 例えば子育てなど、何かに特化したものを作るべきではないかと思います。
- ・ 私は一人の桶川市民として、いい物、いいサービスがあれば駅通り商店街で買い物をしたいと思っていますが、南小跡地の中にミニスーパーなどの商業施設が出来た場合、既存の商店街とは敵同士になるのか、それとも仲間としてコラボレーションしていくのか、商店街の未来像や計画などがありましたら、お伺いしたいと思います。
- ・ 今の駅通りはシャッター通りと言われていて、ますます悪い方向に向かっているのが現状だと思っています。今後も桶川や上尾に大型商業施設の建設が予定されており、影響は避けられないと思いますが、駅東口については地域に密着した施設にしなければならないと思います。そのためにもミニスーパーなどは欠かせないものだと思うし、そういうものと既存の商店街がどのように連携していくか、ということが必要になるのではないのでしょうか。
- ・ 生鮮3品の揃っていない商店街は、商店街としての役割を果たせなくなっています。過去には揃っていましたが時代の流れとともに衰退してしまいました。そのような中で、難しさはあるけれども、個々の努力をしながら生鮮3品の揃った商店街にしていくことが、商店街の活性化には最低限必要なことだと思います。